

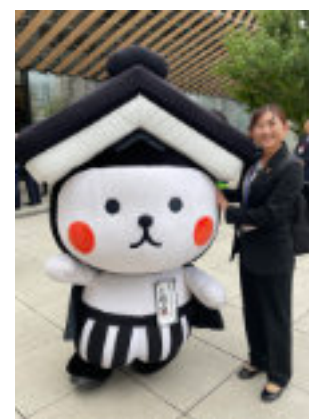
2025年
10月

- 3日 総務委員協議会
- 6日 井之口学校給食センター給食試食会
- 7日 広報広聴委員会
- 9日 全国都市問題会議（創生会視察）
- 11日 サンドフェスタ開会式
- 15日 長岡地区馬飼八幡神社大祭
- 18日 稲沢まつり開場式
・長岡同窓会地区運動会
- 19日 秋の芸術祭
- 21日 創生会政策会合
- 23日 荻須記念美術館特別展開会式
- 24日 利水神社秋の祭礼
- 25日 福祉まつり
- 26日 消防団観閲式



11月

- 1日 市政記念式典
- 20日 総務委員協議会
- 22日 そぶえイチョウ黄葉まつり
オープニングセレモニー
- 28日 議員総会



12月

- 2日 発言通告締切
- 5日 12月定例会開会
- 10日 質疑・一般質問
- 11日 質疑・一般質問
- 12日 質疑・一般質問
- 16日 総務委員会
- 22日 広報広聴委員会
- 23日 12月定例会閉会
- 26日 年末夜警激励出発式

2026年
1月

- 7日 広報広聴委員会
- 10日 消防出初式
- 11日 二十歳のつどい
- 14日 創生会予算説明会
- 18日 長岡地区新春ボウリング大会
・馬飼八幡神社おびしゃ
- 22日 総務委員会行政視察 1日目
- 23日 総務委員会行政視察 2日目



2月

- 9日 創生会政策会合
- 14日 社会福祉大会
- 17日 広報広聴委員会
- 18日 総務委員協議会
- 22日 祖父江町厄年奉賛会
- 25日 議員総会 議員研修
- 27日 発言通告締切
- 28日 大鏡餅出迎え



3月

- 4日 3月定例会開会
- 6日 稲沢市立祖父江中学校卒業式
- 7日 矢合・植木センター梅まつり
- 9日 質疑・一般質問
- 10日 質疑・一般質問
- 11日 質疑・一般質問
- 13日 総務委員会
- 19日 稲沢市立長岡小学校卒業式
- 23日 広報広聴委員会
- 24日 3月定例会閉会
- 25日 消防団第1分団詰所竣工式
- 29日 和光会花見会
- 30日 創生会政策会合

ときゆうこ

後援会通信

ときゆうこの挑戦

ごあいさつ

皆様に通信を通し、議員活動を紹介してまいりました。多くの方にお目通しいただいていると承知しております。まず持って感謝いたします。ご意見や励ましのお言葉に力をいただいています。

さて近年、行政区の消防団員選出は、担い手不足が深刻になっています。団員の平均年齢は高齢化し、女性消防団員も増加しています。一方、気候変動により豪雨等の近年型水害が頻発、消防団の役割は多様化しています。このため、団の充実強化は重要性を増しています。視察では人口減少や社会の変容に対応する施策の紹介があり、先進事例を学んでまいりました。そこで令和8年3月定例会では、稲沢市消防団の充実強化および消防団による近年型水害の水難出動について過分ながら一般質問を行いました。次面の政策と実績の欄で内容を紹介いたします。一読していただければ幸いです。これからも精一杯取り組んでまいります。引続きのご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

水田がよみがえりました！

2025年1月



農家の皆さんと行政の協働で再び稲作ができるようになりました。
私は調整役として携わらせていただきました。
カメムシ等小動物の被害が減り、
稲作しやすくなる上、不法投棄がなくなり、
景観がよくなりました。

農家

行政

調整



2026年4月



市に働きかけ実現されたこと 😊

1 団員の募集促進と確保

Q: 区域内に住む18歳以上の者が消防団員になるが、稲沢市行政区別の人口（表1）を見ると2021年と2026年の比較では、祖父江町の減り幅は他の地区より大きく、その中でも長岡地区の減り幅は他地区より著しい。このような人口減少傾向は、今後も継続と予想され、次回の団員選出では、60代以上の団員がほとんどという地区もある。

市が消防団への積極的な加入促進のため、これから実施しようとしている施策は何か？（消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律第9条（以下「消防団等充実強化法」という。））。

A: 地区から要望あった場合には地元消防団員と共に説明会を行うことを視野に入れる。

また、外国籍団員を募集する英語版案内を作成し、商業施設などで入団促進のPR活動を行う。

表1 稲沢市人口

	2021	2026 推定(人)	減少率
総合計	136,245	132,226	-4,019 3%
稲沢 地区 合計	25,732	25,218	-514 2%
小正 地区 合計	21,764	21,099	-665 3%
下津 地区 合計	11,556	11,349	-207 2%
明治 地区 合計	13,200	12,521	-679 5%
千代田 地区 合計	8,112	8,157	45 -1%
大里西 地区 合計	11,670	11,342	-328 3%
大里東 地区 合計	11,055	10,807	-248 2%
祖父江 地区 合計	20,837	19,781	-1,056 5%
平和 地区 合計	12,319	11,952	-367 3%
長岡地区	2,792	2,587	-205 8%

資料元 稲沢市行政課人口調査課

😊 実現に向け市に働きかけていること

Q: 消防団の充実強化は、稲沢市消防団条例から、市が中心になって行うと理解してよいのか？

A: 消防団の充実強化については、消防団等充実強化法第8条で「国及び地方公団体は、消防団の抜本的な強化を図るため、必要な措置を講ずるものとする。」と規定されているので、市が中心となって行うと解釈している。

Q: 社会の変化、消防団間の不均衡是正を目的にあり方検討会設置の必要はあると考えるか？

A: 社会構造の更なる変化が進み、消防団に求められる役割にも大きな変革が求められた場合などに的確に対応するためには、あり方検討会の設置などを検討する必要性が生じてくるものと考えている。

社会構造の変化に応じた更なる市消防団の充実強化のため、検討会の設置を継続して求めている。

2 消防団の資機材整備向上

Q: 消防団員の高齢化・女性団員の増加を踏まえ、資機材の軽量化や操作性向上は検討しているか？

A: ここ近年の課題となっているため、資機材の軽量化や操作性向上は考慮すべき点として捉えており、消防団本部を交えて継続的に意見交換等を行っている。

Q: 資機材更新時に作業負担軽減について考慮しているか？

A: 資機材の選定については、小型化かつ軽量で扱いやすいものを選定している。今後の更新に合わせ、時代に即した資機材の調査研究を進めていく。

団員の多様化に対応した資機材の整備を求めている。

3 市水難出動用ボートの整備・保管

Q: 防災安全課のボートは救出の出動部署に配備されるのが基本ではないか？迅速性に課題はないか？

A (防災安全課) : 逃げ遅れた市民や自力で避難が困難な市民の救助、救出時には、迅速に活用するよう水防団や消防署等と連携を図る。

A (消防) : 防災安全課のボートを、消防署又は水防団が使用する場合も想定されることから、配備場所などの必要な情報を消防署及び水防団に周知する。

近年水害の救助を想定し、市で使えるすべてのボートの指揮管理系統を一本化する議論を重ねていく。

